

非住宅受注が過去最高の9%に

専門部署で営業強化

ポラテック

ポラテック埼玉県越谷市、中内晃次郎社長)の4月度のプレカット事業は、非住宅の加工実績が1万481坪(前年同月比19.4%増)と過去最高になった。非住宅比率は9%で前年同月比1.6%増加。同社では非住宅分野の受注を強化しており、3月21日付で非住宅推進部(岩田聡部長)を設置。各地に専任担当を配置し、受注強化している。

同社はプレカット最(変わらず)と合板以外大手で、4月度の受注は前年同月比で増加している。構造材の加工実績は11万8386坪棟(同1.3%減)(同1.3%増)、羽で、外販売り上げが3柄材7万3282坪380棟(同1.2%(同0.5%増)、合増)と、受注残を積み板加工は6万23坪(同増)した。

注文住宅で若干の駆け込み需要が出た模様で、分譲住宅の着工は好調だが、「分譲住宅の販売も悪くはないが、いずれプレキが掛かるかもしれない」と(同社)という。

工場は4月29、30日と5月1日に稼働する予定だが、連休前の大きな混乱はなさそうだ。大型連休中に富士第2工場の無人化ラインの整備を進め、名古屋工場も5月10日以降に機械搬入などを行い、加工能力の向上と物流体制の強化に取り組む。

受注の10%を非住宅分野とすることを目標に取り組み、4月度は9%まで受注比率が高まった。北大路康信専務は「団塊層のリタイアなどで今後、高齢者施設などの需要増加が見込まれる。一般流通材活用と構造設計力、プレカットの加工能力などを生かして、さらに伸ばしていきたい」と話している。

同社プレカット部門では4月に新入社員30人を採用、人材面の強化も進めている。